

和歌山静子 絵本原画展

『ぼくは王さま』と平和の絵本



■和歌山静子 Shizuko Wakayama

1940年京都生まれ、幼少期は函館で過ごす。武蔵野美術大学卒業。力強く大胆な絵を寺村輝夫氏に見出され、20代後半から子どもの本の仕事を始める。寺村輝夫原作による「王さまシリーズ」が広く知られているほか、絵本作品も『あいうえおうさま』（理論社、絵本につぼん賞）『おおきなちいさいぞう』（文研出版、講談社出版文化賞）『くろねこさん しろねこさん』（童心社、産経児童出版賞文化賞）をはじめ、『てんてんてん』『ひまわり』『どんどこん』（以上、福音館書店）など多数。「日中韓平和絵本シリーズ」の一冊として『くつがいく』（童心社）を発表した。2024年1月逝去。

この度、安来市加納美術館では企画展「和歌山静子絵本原画展 『ぼくは王さま』と平和の絵本」を開催いたします。和歌山静子さん(1940～2024)は、童話作家の寺村輝夫さんが文章を書いた「ぼくは王さま」のシリーズで広く知られており、温かく力強い描線で描かれたこのシリーズのイラストは和歌山さんのライフワークの一つだと言えます。またご自宅に「アジア絵本ライブラリー」を開設し、アジア各国で取材をして絵本を作成したり、2011年に日本、韓国、中国の絵本作家が協力して出版した「平和絵本」シリーズの一つとして『くつがいく』を発表したりするなど、絵本を通じた各国の相互理解と平和交流にも取り組んできました。この展覧会では「ぼくは王さま」シリーズを中心に和歌山静子さんの作品を取り上げ、絵本原画という身近な芸術に親しんでいただくとともに、平和な世界の実現を願った和歌山静子さんの作品をご紹介します。

絵本を通して、幼い世代から大人まで、平和への思いをはせていただければ幸いです。



【ムルンとサルタイ】2004 うださちこ・作 リーブル・刊



【よあけまで】2002 曹文軒・作 中由美子・訳 童心社・刊

展示内容 王さまシリーズさし絵や絵本原画など、約100点。
※展示内容は都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

【王さまゆめのひまわり】
1991 寺村輝夫・作 理論社・刊
©Teruo Teramura & Shizuko Wakayama



期間中のイベント

●トークイベント 5月25日(土)午後1時30分～3時 「和歌山静子さんとこどもの本WAVEについて」

講師：穂積保さん(こどもの本WAVE代表)
会場：布部交流センター(美術館となり)

●アートdeトーク(対話型鑑賞会)

6月9日(日)午前11時～、午後1時30分～
ファシリテーター：春日美由紀(うるとらまりん)

●学芸員によるギャラリートーク

6月15日(土)、6月30日(日)、
7月13日(土)、7月28日(日)
各午前11時～ 午後1時30分～

●講演会

「モンゴルの蒼い空 — 和歌山静子の思い出」

6月23日(日)午後1時30分～3時

お話し：うださちこさん(『ムルンとサルタイ』作者)
会場：布部交流センター(美術館となり)

●おはなし会 → 【としょかんコラボ】

7月15日(祝・月)

午前10時30分～、午後1時30分～
大型紙芝居や大型絵本がやってきます!

※詳しくは美術館にお尋ねください



【くつがいく】
2013 童心社・刊

All Illustrations
©Shizuko Wakayama

同時開催

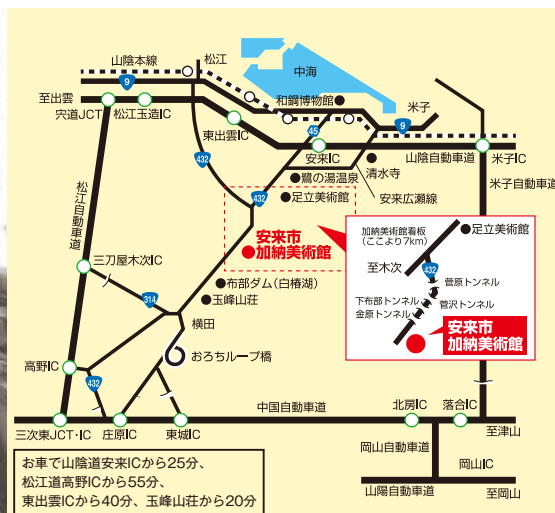
かんらい
[加納莞薔展]

今願うー 世界の平和を

加納莞薔の作品と平和への活動の軌跡を展示。
平和を求め続けた加納莞薔の想いを伝えます。



Kanrai
Kano



お車で山陰道安来ICから25分、
松江道高野ICから55分、
東出雲ICから40分、玉峰山荘から20分



レストラン
やまざや
を併設しています。

火曜日定休日
(祝日の場合は翌日)

入館割引券
100円引



平和を願い続ける美術館
安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部 345-27
TEL: 0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>

